

住宅団地再生の先進事例（発表資料）
（午後の部）

第4回 「住宅団地再生」連絡会議

令和元年6月28日（金）

資料1-2 目次

●午後の部 【テーマ】生活しやすい住環境の実現に向けて

高齢化が進む住宅団地において、生活しやすい住環境の実現に向けた取組事例について、横断的な取組、交通、生活サービスといった視点でご紹介いただきます。

①	北広島団地の再生に向けた取り組み	本市では、少子高齢化が進む高齢化率が40%を超える戸建て住宅が中心の北広島団地の再生に向けて、住み替えの促進、学校跡施設の活用、公共交通の再編など、行政、市民、民間企業、各種団体が地域一丸となって事業を横断的に実施し、再生に向けた取り組みを推進しています。
P 1 ～ P 18	北広島市企画財政部企画課 課長 橋本 征紀	
②	高齢化が進む住宅団地での共助によるモビリティサービスの実現	高齢化する地域での新たな移動手段について考えるため、テーマを「共助」としてグリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査事業を行いました。地域内で運転手や利用者との調整を行い、地域の中の交通弱者を地域の方が助ける状態を目指しました。
P 19 ～ P 30	東員町 早川 卓磨	
③	ヤマトグループ 地域共創プロジェクト くらしのサポートサービス「ネコサポ」	ヤマトグループが2016年に多摩ニュータウンで始めた「ネコサポ」は、生活支援サービスを軸に地域に密着し、生活者にとって便利で有益な情報やサービスを繋ぐ「コーディネーター」を担います。このソフトで、パートナーと共に地域で幅広く創出する有形・無形の付加価値により、戸建て・集合を問わない住宅団地再生にも貢献します。
P 31 ～ P 40	ヤマトホールディングス株式会社 地域共創プロジェクト シニアマネージャー 高野 茂幸	
④	独立行政法人都市再生機構様との連携協定に基づいた日本総合住生活株式会社（JS）様との団地内出店取組み事例	日本総合住生活株式会社様と連携協定実現店舗の試行店運営を通じ、実施してきました団地住民様へのサービス、品揃え、地域参加、住民の反応について共有させていただきます。また、5月10日開店の連携協定1号店、JS森之宮団地店の状況をご報告いたします。（集合住宅 賃貸での取組み）
P 41 ～ P 54	株式会社セブン-イレブン・ジャパン リクルート本部 法人営業部 マネージャー 磯野 聡	



北広島団地の再生に向けた取り組み

北海道北広島市 令和元年6月28日

説明内容

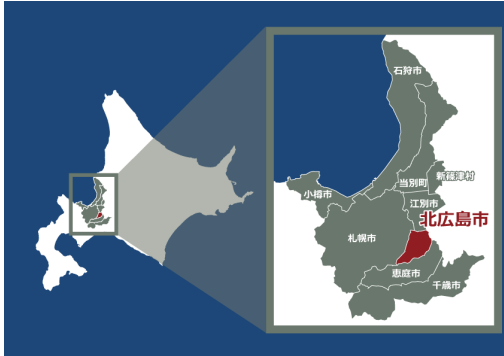
- 北広島市の概要
- 北広島市の人口・世帯数等
- 北広島団地地区の概要
- 北広島団地地区の課題
- 総合戦略に基づく取組
- 北広島団地地区に係るその他の取組
- おわりに



▲エルフィンパーク

- 北広島市は、札幌市と新千歳空港の中間に位置し、緑に囲まれたゆとりある土地空間と優れた交通網など自然と都市機能が調和したまちで、札幌圏のベッドタウンとして成長してきた。
- 古くから北海道における交通の要衝で札幌農学校（現在の北海道大学）の初代教頭クラーク博士が「Boys, be ambitious（青年よ大志をいだけ）」の名言を残したゆかりの地。
- また、長きにわたり不可能とされていた道南より北での稲作に成功した「寒地稲作発祥の地」と知られ、北海道米のルーツも北広島市にある。

北広島市の位置



- 人口：58,467人
(令和元年5月31日現在)
- 世帯数：27,690世帯
(令和元年5月31日現在)
- 面積：119.05km²



- 高速道路のICに近く、大消費地の札幌や物流拠点の新千歳空港や苫小牧港、小樽港へも短時間で移動できることから、5か所の工業団地を中心に約300社の事業所が操業している。平成26年3月に完成した市内で5か所目となる輪厚工業団地は、交通アクセスの優位性を活かし、現在順調に分譲が進んでいる。（分譲率約95%）
- 札幌市に隣接する大曲地区では、大型商業施設の立地が相次いでおり、年間1,000万人を超える方々が国内外から訪れている。

主な立地企業

- ✓よつ葉乳業 札幌工場
- ✓北海道新聞札幌工場
- ✓朝日新聞・日刊スポーツ印刷工場
- ✓毎日新聞北海道センター
- ✓読売新聞大曲工場
- ✓中北薬品
- ✓加藤産業
- ✓ヤクハン製菓
- ✓センコー
- ✓彩香
- ✓ユニシス
- ✓石屋製菓

主な商業施設

- ✓三井アウトレットパーク札幌北広島
- ✓インターヴィレッジ大曲
- ✓ジョイフルエーカー大曲店

北海道日本ハムファイターズボールパーク



(出所：㈱北海道ボールパークHP)
平成30年10月31日に北海道日本ハムファイターズボールパークの建設が「きたひろしま総合運動公園予定地」に決定。2023年の開業に向けて関係機関と連携した取組を推進する。

三井アウトレットパーク札幌北広島

平成22年に開業した大型アウトレットパーク。約180店舗が設置されており、市内外をはじめ、新千歳空港へ向かう外国人観光客にも多く利用されている。

インターヴィレッジ大曲

平成20年に開業した複合大型ショッピングセンター。スーパー、家電量販店、ホームセンターなど主要テナントのほか、専門店街モールを併設。



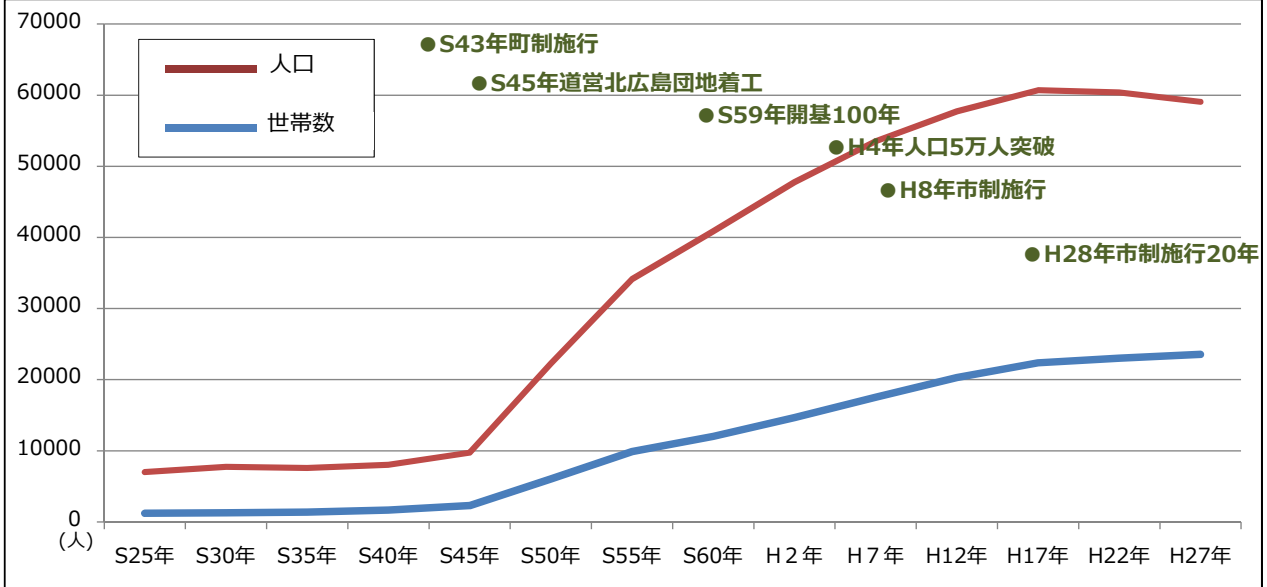
(出所：地図データ 北広島市土地開発公社HP)
元プリンスホテルで、平成20年から㈱アンビックスが運営。宿泊、温泉のほか、ゴルフ、フィットネス、スノーパークなどが楽しめる。

北広島市の人口・世帯数等

- 市の人口は北広島団地の造成が始まった昭和45年頃（約9,000人）から急増したが、平成19年（61,199人）をピークに減少が続いている。
- 昭和50年の国勢調査では、昭和45年調査と比べ、人口増加率が2.28倍と全国2位の伸び率を記録。北広島団地の造成が純農村から都市へとまちの姿が一新する契機となる。
- 近年は、緩やかな人口減少が進んでいるが、様々な定住促進への取組により、転入が転出を上回る社会増となっている。

北広島市の人口・世帯数の推移

(国勢調査)

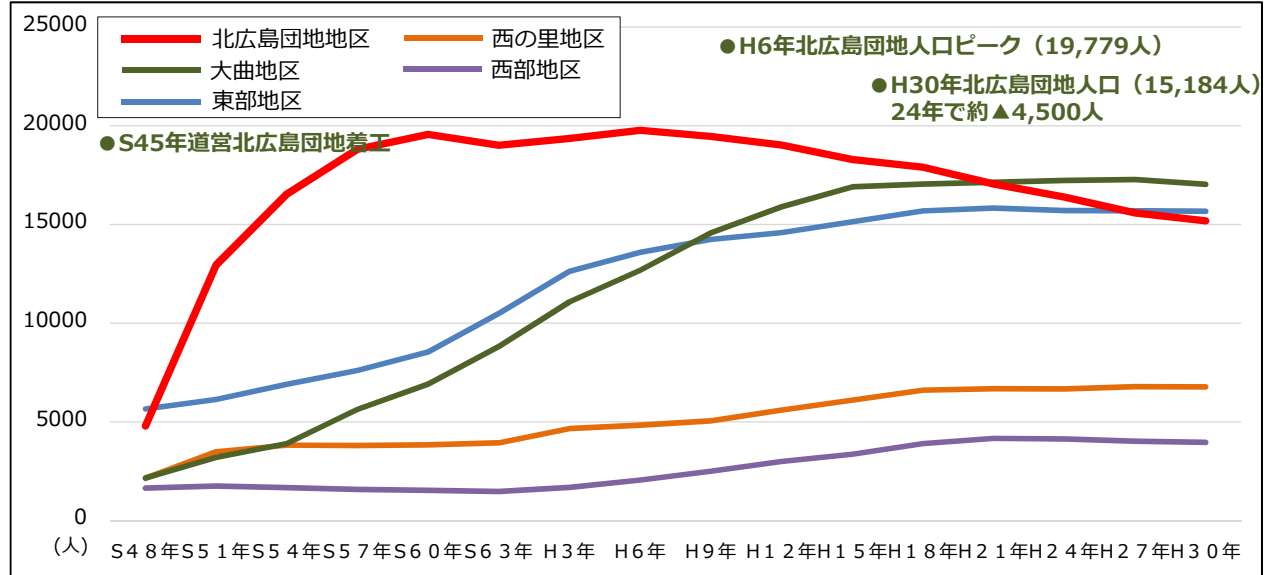


北広島市の人口・世帯数等

- 北広島市の市街地は、JR北広島駅に近い「北広島団地地区」及び「東部地区」、札幌市厚別区に隣接する「西の里地区」、札幌市清田区に隣接する「大曲地区」、恵庭市に隣接する「西部地区」の5つの地区に分かれてる。
- 北広島団地地区は、市内で最も少子高齢化と人口減少が進んでおり、団地地区の活性化がまちの課題となっている。人口は、平成6年にピークを迎え、24年間で約4,500人減少している。北広島団地地区を除く4地区の人口は、概ね横ばいで推移している。北広島団地地区の減少を他の4地区でカバーしている。

市内各地区の人口の推移

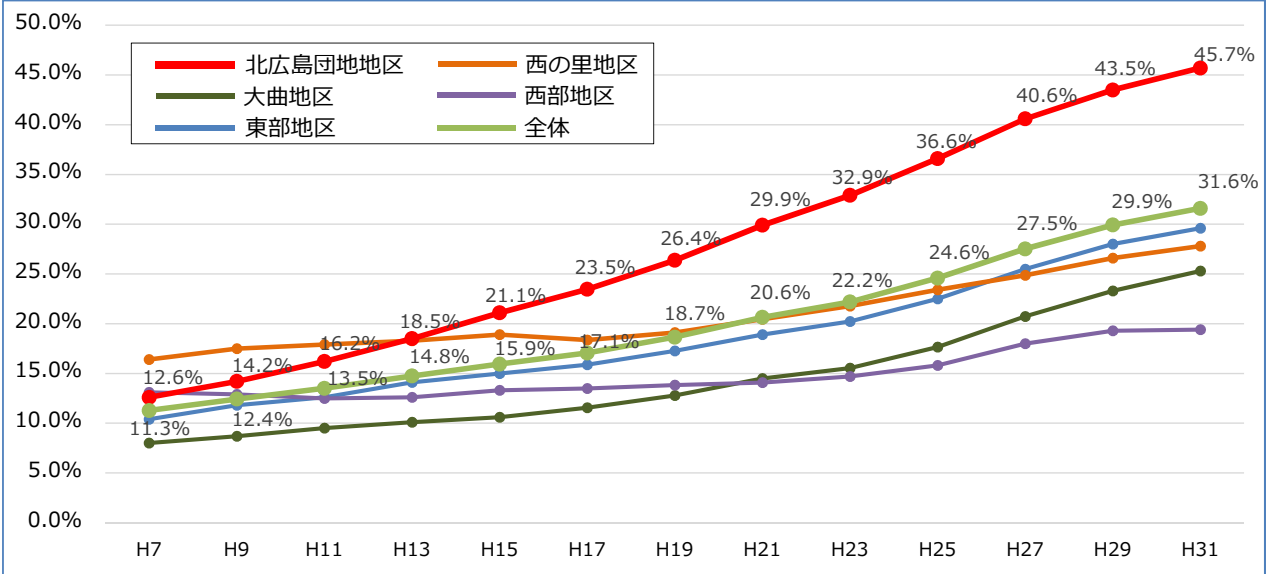
(住民基本台帳)



- 少子高齢化の進展により、市全体の高齢化率が上昇している。平成31年3月時点の高齢化率は31.6%であり、平成11年の13.5%から20年で約18%高くなっている。
- 特に北広島団地地区の高齢化が顕著であり、平成31年3月末時点の高齢化率は45.7%で、市全体の31.6%を大きく上回っている。

市内各地区の高齢化率の推移

(住民基本台帳)



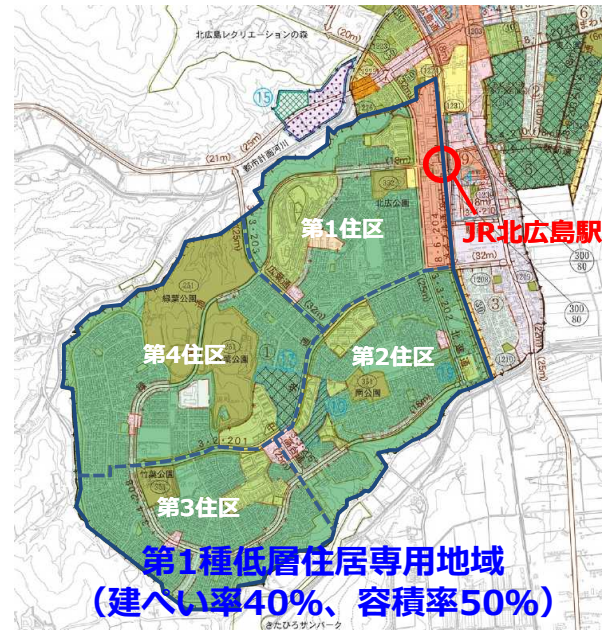
6



- 北広島団地は、札幌圏の住宅需要に対応するとともに、当時の広島町のまちづくりの核となる住宅団地として、北海道により昭和45年に造成が開始される。
- 小学校の学区区ごとに、第1住区から第4住区の4つの住区からなり、各住区の利用しやすい位置に近隣商業地域を指定し、商業施設やコミュニティ施設等が配置された。
- 北広島団地は、集合住宅を少なく配置し、庭つきの住宅用地が多くとられ、低密度の住宅団地として計画される。また住宅地内への車両の流入を制限する計画となっている。

事業主体 北海道
区域面積 約440ha
収容人数 27,000人（当初計画31,000人）
事業年度 昭和45年度～平成2年度

区分		面積	利用率
宅地	住宅用地	175.9ha	39.9%
	（個別住宅）	（131.3ha）	（29.8%）
	（集合住宅）	（44.6ha）	（10.1%）
	公益施設用地	48.5ha	11.0%
小計		224.4ha	50.9%
公共用地	道路用地	78.5ha	17.8%
	公園緑地	138.0ha	31.3%
	小計	216.5ha	49.1%
計		440.9ha	100.0%



（出所：地図データ 北広島市都市計画図）

北広島団地地区の概要（特徴）



▲宅地は平均100坪、ゆとりある住環境



▲団地内には、総合公園1箇所、近隣公園3箇所、街区公園21箇所



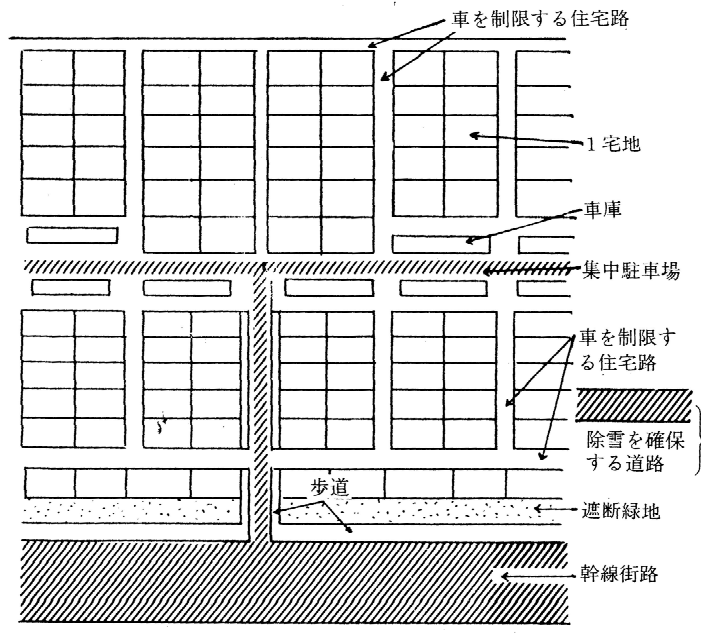
▲緑に囲まれた住宅団地、広々とした街路も特徴



▲団地内を一周（5km）する歩行者・自転車専用道路



▲住宅地への車両の出入りを制限するために設けられた集中駐車場（通称：車庫通）



(出所：住宅団地の開発－真駒内・大麻・北広島団地開発の記録 (北海道住宅都市部))

北広島団地地区の課題

- 少子高齢化の進展、人口減少
- 商業施設の縮小・撤退
- 公共交通（バス路線）の縮小
- 地域コミュニティの維持
- 空き家の問題
- JR北広島駅前の魅力創出 など



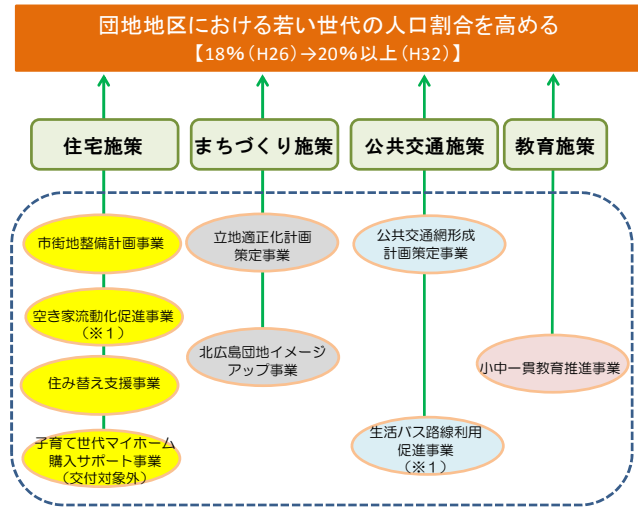
▲幹線街路（中央通）幅員32m

北広島市まち・ひと・しごと 創生総合戦略（抜粋）

北広島団地は、まちづくりの核となる住宅団地として、昭和45年に造成が開始され、これまでまちの発展をけん引する地区として成長してきましたが、近年は少子高齢化の影響から、市内で最も高齢化率が高く、人口減少が進む地区となっています。

北広島団地への新しい人の流れをつくり、**再びまちの発展をけん引する地区として成長**することを目指し、団地活性化につながる施策を重点的かつ戦略的に取り組みます。

北広島団地フェニックスプロジェクト



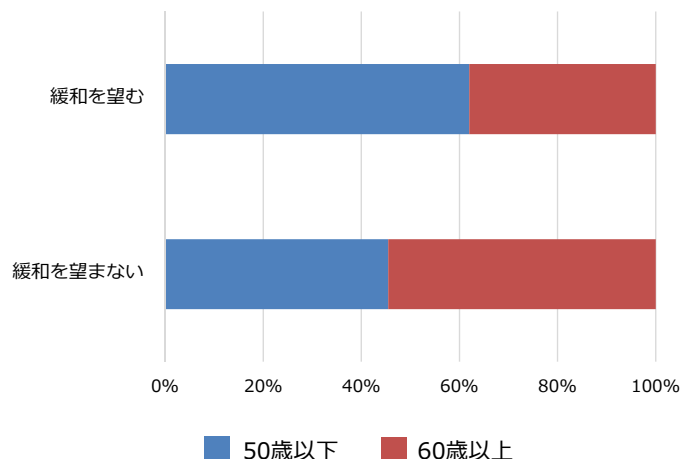
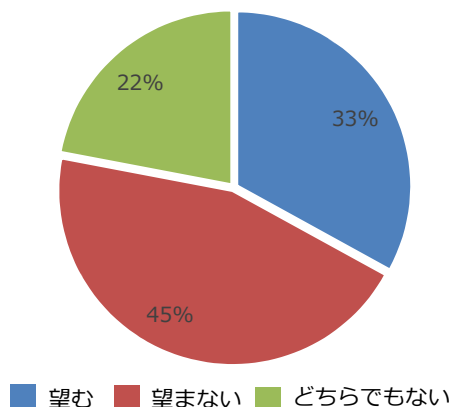
北広島団地地区の活性化に向けて、**「住宅」「まちづくり」「公共交通」「教育」**の各施策を一体的に推進する。

住宅施策

● 市街地整備計画事業

- 北広島団地地区における容積率を見直すことにより、団地地区への人の流れをつくる。
- 現在、北広島団地地区の大部分は、容積率50%、建ぺい率40%。（一部、地区は平成18年に容積率を60%に緩和）
- 平成30年度に住民アンケート調査を実施。

容積率の緩和（50%⇒60%）について

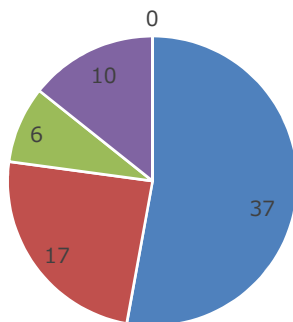


住宅施策

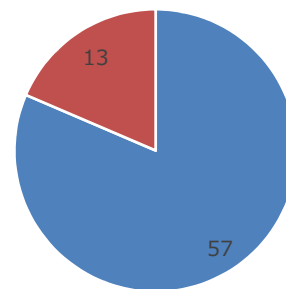
● 空き家流動化促進事業

- 空き家の解体を支援することにより、土地の有効活用・流動化を進める。
- 補助は、空き家解体後の土地を住宅の建設など定住促進に効果が認められるものが対象。
- 平成28年度制度創設。解体費用の2分の1を助成（平成28上限50万円→平成29年度以降30万円）

解体件数（H28～H30：70件）



解体後の土地利用の状況（件数）

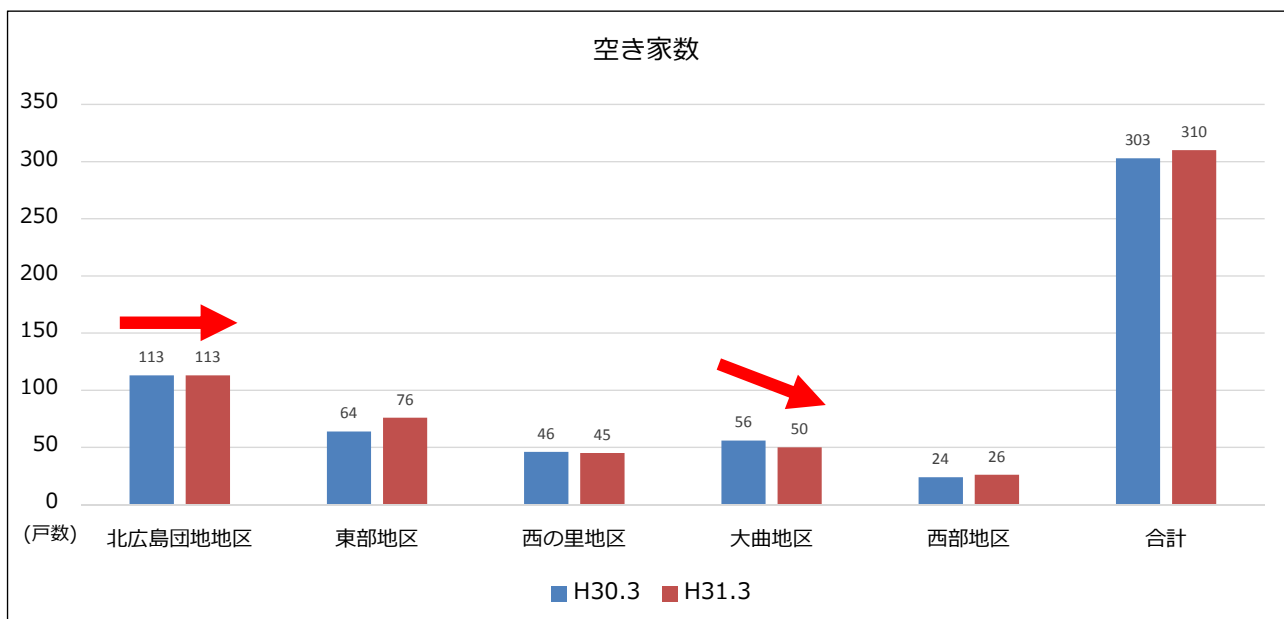


■ 北広島団地地区 ■ 東部地区 ■ 西の里地区 ■ 大曲地区 ■ 西部地区

■ 土地利用有 ■ 土地利用無

（参考）空き家の状況

- 空き家の数をH30.3とH31.4を比較すると、市全体では微増となっている。
- 北広島団地地区は人口減少と高齢化が進む地区であるが、空き家の戸数は増減がない。大曲地区は減少傾向にある。

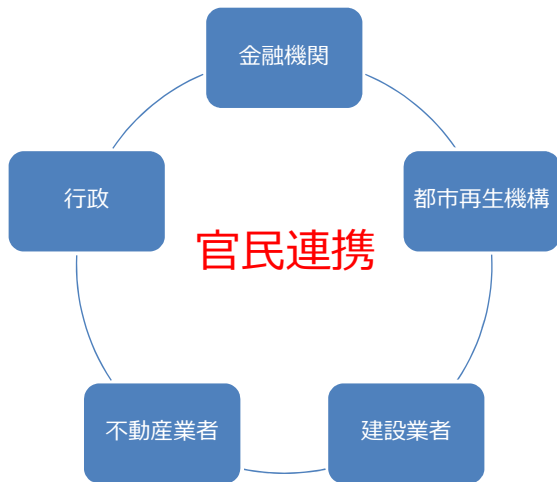


※1年間以上水道を使用していない戸建て住宅。UR住宅、道営住宅、市営住宅等を除く。

住宅施策

● 住み替え支援事業

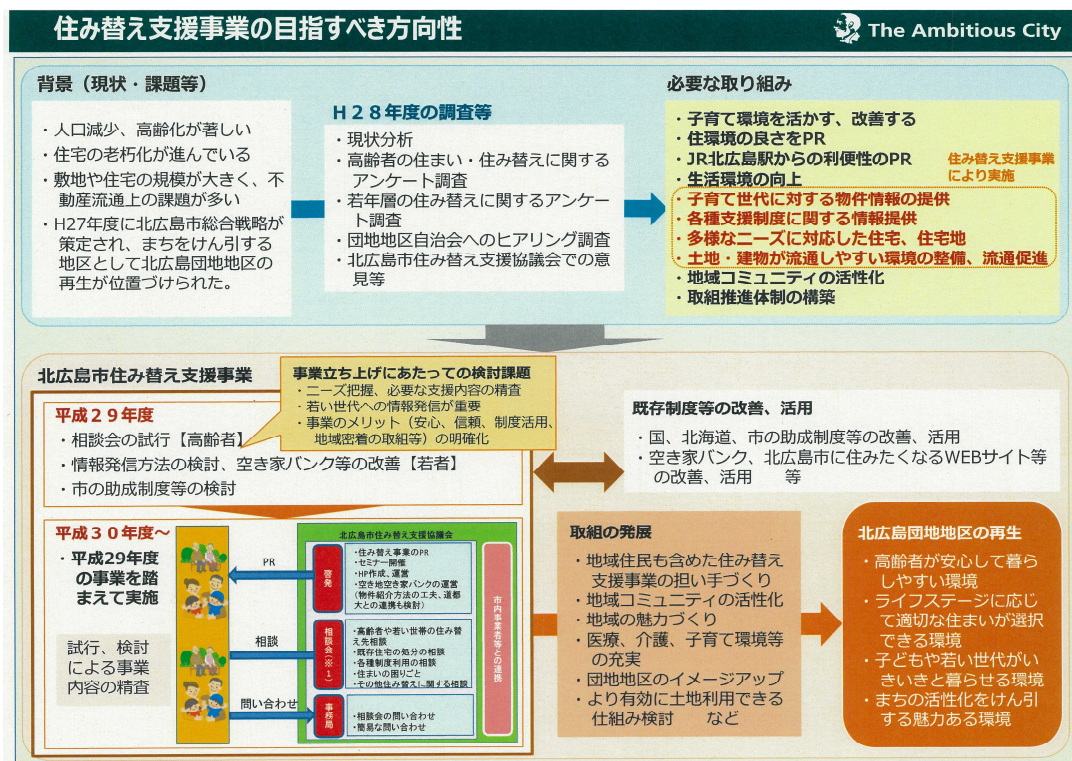
- 子育て世代をゆとりの住環境である北広島団地地区へ、高齢者世代を利便性の高い地区に誘導するため平成28年度に住み替え支援協議会を設置。
- 住み替え支援協議会は、行政、金融機関（3行）、都市再生機構、建設業者、不動産業者（6社）が連携。住み替え支援セミナーや個別相談会等を実施している。



▲協議会の様子

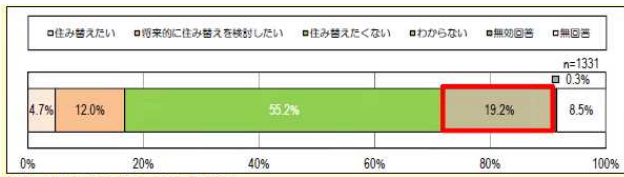
住宅施策

● 住み替え支援事業

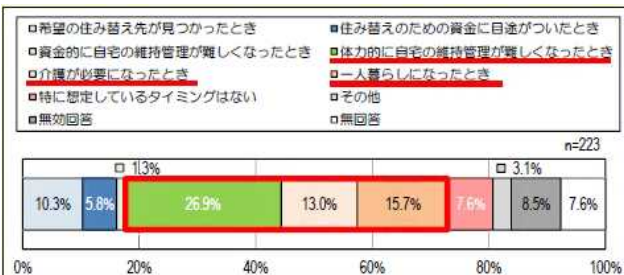


住宅施策

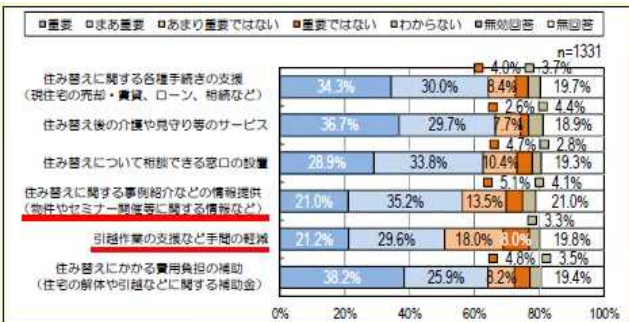
● 住み替え支援事業



● 「住み替えたくない」が5割を超える一方、「分からない」が約2割と一定程度いる。



● 介護や自宅の維持管理が難しくなった時に住み替えを考える方が多い。



● 売却など各種手続きの支援や相談窓口の設置のほか、物件やセミナーなどの情報提供も重要度が高い。

- 住宅や住み替えに関する相談体制の充実
- 将来の住まいについて考えてもらう機会の提供

(出所: 高齢期の住まい・住み替えに関するアンケート調査 (H28実施)) 18

住宅施策

● 住み替え支援事業



第1回セミナー
【開催日】平成31年(令和元年)6月20日(木)
【会場】北広島団地住民センター(北広島市泉町1丁目1番地)

第2回セミナー
【開催日】平成31年(令和元年)8月28日(水)
【会場】北広島市役所(北広島市中央4丁目2番地1)
※今年度は全4回のセミナーを実施予定です。第3回以降は後日お知らせします。

- 第1部 高齢者住宅への住替え (午後1時～2時15分)
高齢者住宅にはどんな種類があって、それぞれのくらの費用がかかるかなどについて専門家が説明します。
- 第2部 住み替え後の住宅の活用や処分 (午後2時30分～3時30分)
住み替え後の住宅について、どんな活用方法があるのか、売却するにはどうしたらいいのかなどを市職員が説明します。



お気軽にご参加ください！

お問合せ 北広島市役所 市民環境部 市民参加・住居施策課
住所: 北広島市中央4丁目2番地1
TEL: 011-372-3311(内線4122)

- 協議会が主催するセミナー・相談会を平成28年度より実施。
- セミナー参加者による不動産会社や金融機関等への問合せが増える。
- 回を重ねるごとに参加者も増え、将来の住まいについて考える機会として定着。



◀ セミナーの様子 19

住宅施策

● 住み替え支援事業

参加無料
どなたでも
参加可能

北広島市 空き家 相談会

空き家の処分や活用などに
ついて相談はありませんか？

≪日時≫ 平成31年(令和元年)5月25日(土) 10時から

≪会場≫ 北広島市芸術文化ホール 活動室1・2

≪スケジュール≫ 9時30分開場

① 10:00 ~ 10:30
相談ブース出展企業・団体の紹介

② 10:30 ~ 12:30
各相談ブースでの個別相談会

相談ブース出展企業・団体(予定)

- 不動産事業者
 - ㈱エンタープライズ
 - ㈱KCMマネジメント
 - ㈱サンエステート
 - ディーエスジー㈱
 - ㈱ヘイワ
 - ㈱八幡地建
- その他
 - 北洋銀行
 - UR都市機構(UR住宅)
 - ㈱ネクステップ(遺品・不用品整理)
 - 日本管理センター㈱(住モサブリース)

≪主催≫ 北広島市
北広島市住み替え支援協議会

≪共催≫ 北洋銀行

お申込み
5月17日(金)までに
市HPの入力フォームまたはお電話でお申し込みください。
【申込み・問い合わせ先】
北広島市役所 市民環境部 市民参加・住宅施策課
TEL 011-372-3311 (内線4122)

HOKKAIDO 北広島市

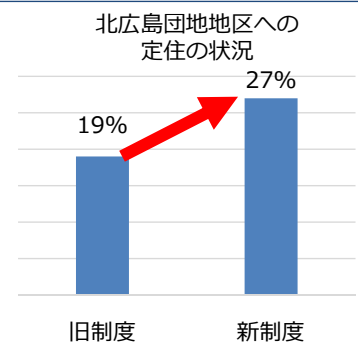
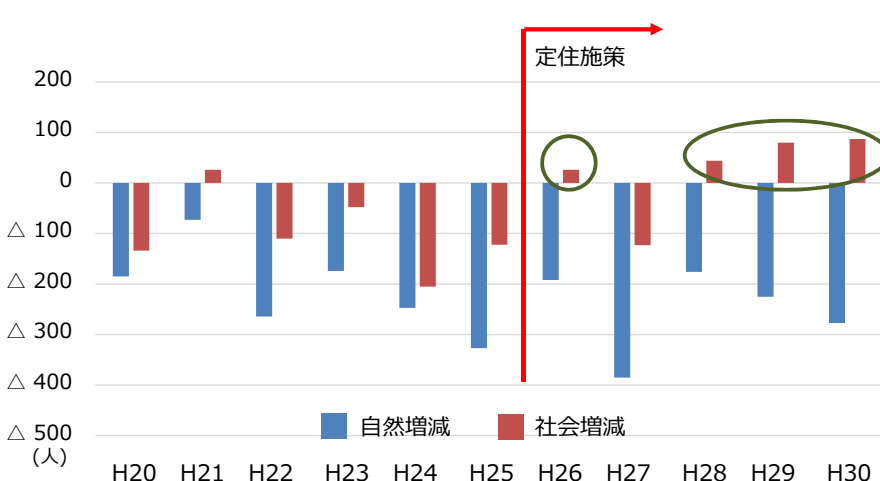


20

住宅施策

● 住宅取得支援 (①ファーストマイホーム支援事業②子育て世代マイホーム購入サポート事業)

- ① 子育て世代の定住を促進するため、平成26年度より住宅取得に対して助成金を交付。交付決定から3年間の定住を条件。(助成額50万円)
- ② 平成30年1月から加算型(基本額30万円、加算により最大70万円)の仕組みに移行。要件は、北広島団地地区への居住、親世代との同居又は近居、市外からの転入、18歳以下の子どもがいる。各10万円の加算。



- 平成26年度は5年振りに社会増
- 中古住宅(262戸)の流動化
- 税収効果

21

まちづくり施策

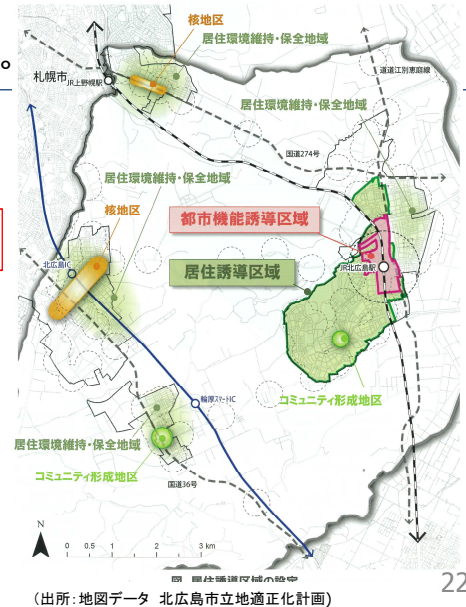
立地適正化計画策定事業

- 将来にわたり持続可能な都市経営を実現するために、都市機能・居住機能の集積、公共施設の適正な配置、公的不動産の有効活用等により、コンパクトなまちづくりに向けた取組を推進。（平成30年12月策定、平成31年4月公表）
- 北広島団地地区及び東部地区の一部を居住誘導区域に、JR北広島駅周辺を都市機能誘導区域に指定。



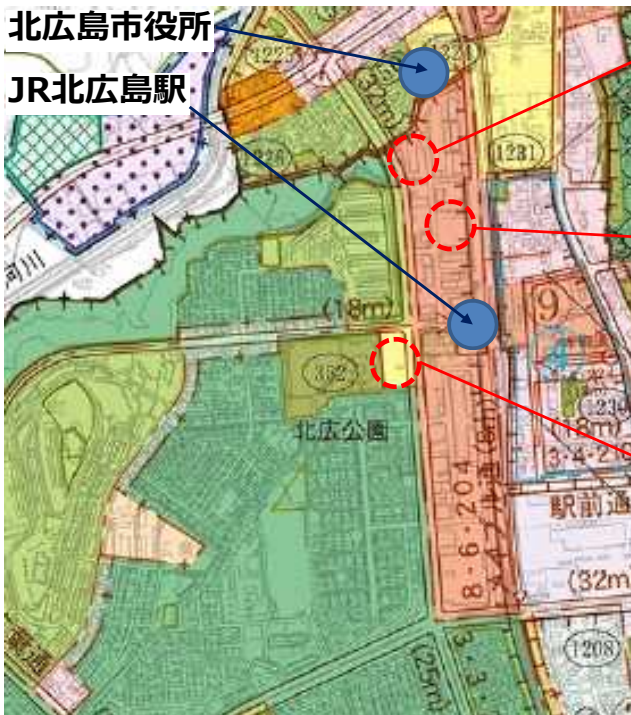
JR北広島駅西口の土地利用について検討着手

- 市の拠点地区だが未利用また高度利用されていない市有地が存在。
- 2023年ボールパーク開業に向けて、アクセス拠点の整備が必要。



まちづくり施策

立地適正化計画策定事業



(出所: 地図データ 北広島市都市計画図)



福祉センター、夜間急病センター
 ・令和元年6月にJR北広島駅前に移転。
 移転後解体
 ・解体後の土地利用未定



市営西駐車場
 ・市営東駐車場は商業機能と住居機能を備えた複合施設
 ・西駐車場は平面利用で駐車場としての機能のみ



北広公園隣接地
 ・芸術文化ホール臨時駐車場、各種イベント広場として活用
 ・駅に近接する土地としての価値・優位性を生かしていない

まちづくり施策

北広島団地イメージアップ事業

- 市内5地区の内、北広島団地地区の人口減少と少子高齢化が著しい。
- 北広島団地の名称が、集合住宅群をイメージさせる。実際は、緑豊かなゆとりある戸建住宅が広がっている。
- 北広島団地地区に若い世代を呼び込み、新たな人の流れをつくるため、団地のイメージアップに向けた取組の推進。

具体的な取り組み

- 北広島団地地区の愛称の設定
- 空き地・空き家巡りツアー
- オーダーメイドツアー
- さんぽまちの唄の制作



さんぽまちの唄
(作詞・監修 藤三 作曲・編曲・歌・小玉 高司)

- 多世代交流サミットの開催
→小学生から高齢者までが世代を超えて、北広島団地を語る。
- 子育て世代を対象とした街頭調査の実施
→団地のイメージに合うか、子育てしやすい地域と感じるか、悪いイメージを受けるか。
一緒にゆったり、歩いていこう。
- 小中学校や地元町内会への説明



さんぽまち 24
KITAHIROSHIMA, HOKKAIDO

まちづくり施策

北広島団地イメージアップ事業（モニターツアー）

参加者の反応

北広島団地を知っていた？

- ・北広島団地地区を「知らない」方が大勢。

移住で重視すること？

- ・土地が広い安い、自然、公共交通、医療・福祉、子育て環境、買い物、教育環境。

北広島団地が魅力だと感じること？

- ・土地が広い安い、自然豊か、札幌市に近い、街並みが整備されている、買い物便利、トリムコースが魅力的など、概ね好印象。

満足度

- ・参加者全員が「満足」「ほぼ満足」と回答。
- ・一方、子連れに特化したプログラムや、学校授業の様子、売地を見たいとする要望も。

移住を検討する場合に
重視すること

=

ツアー後、北広島団地で
魅力として感じたこと

北広島団地の魅力を伝えることで、
同地区に若い世代を呼び込むことは可能。

公共交通施策

地域公共交通網形成計画策定事業（H30年度から地域公共交通網形成計画推進事業）

- 平成30年6月に「北広島市地域公共交通網形成計画」を策定。
- 計画に基づき、小中学生を対象としたモビリティマネジメント、地区間を結ぶ路線の実証運行、バスとJRとの乗り継ぎ改善、バスに係る情報発信（ニュースレターの発行）、北広島団地線の再編等を検討・実施。

北広島団地線



- 北広島団地地区と東部地区を運行する市内完結路線（民間事業者）
- 利用者数の減少に伴う赤字額の増加
- 運転手不足、燃料費の高騰等

路線の維持・確保に向けて



- 運行赤字額に対する補助制度
- 北広島団地線の沿線に住む住民を対象とした利用助成券の交付（生活バス路線利用促進事業）

- 対象：北広島団地地区及び東部地区に住む70歳以上の方
- 内容：2,000円分のバス利用券の交付

26

公共交通施策

地域公共交通網形成計画策定事業（H30年度から地域公共交通網形成計画推進事業）

<北広島団地線の再編の考え方>（令和元年秋再編予定）

- ✓ 利用実態を踏まえた資源（車両、人工）の投入
- ✓ 投入する資源が減少しても利便性は損なわない
- ✓ 時間帯別に運行形態を変更（通勤・通学時間帯と日中の利用は違う）



- 日中時間帯は二つ（北広島団地地区・東部・団地方面）の循環系統
- 北広島団地地区は夕方以降も循環系統
- 新設路線

27

教育施策

小中一貫教育推進事業

- 教育環境の充実は子育て世代の定住や企業誘致など、まちづくりにおいて大きな要素となる。
- 特色ある教育環境を推進するため、平成30年度より「小中一貫教育」を全中学校区で導入。



28

北広島団地地区に係るその他の取組

● 用途地域の変更

「住宅地における小規模店舗の誘導」、「幹線道路沿道における便利施設の誘導」等を図り、団地地区における生活利便性の向上等に向けて、平成27年12月に緑陽通沿線等の地域を第1種低層住宅専用地域から第2種低層住居専用地域に見直し。

● 買い物不便者への取り組み

平成31年3月に「生活協同組合コープさっぽろ」と「買い物不便者支援モデル事業に関する連携協定」を締結。同月より、北広島団地地区のうち、駅から離れた第3住区、第4住区において移動販売車のモデル実験を実施。

● 学校跡施設利活用

北広島団地地区における児童数の減少により、平成24年3月に地区内の4小学校が2小学校に統合。2つの小学校施設が学校としての役割を終える。これらの跡施設について、民間活用を図るなど跡施設の利活用を推進。

- ・ 旧広葉小学校
市が複合施設として活用→広葉交流センター（いこ〜よ）
- ・ 旧緑陽小学校
民間活力をいかした活用
→北広島団地地域サポートセンターとともに

2019年3月19日運行開始

北広島市買い物不便者支援モデル事業

移動販売車

を運行します！

おまかせ販売 カケル

北広島市と生活協同組合コープさっぽろは2019年3月7日に「買い物不便者支援モデル事業に関する連携協定」を締結し、買い物不便者支援モデル事業として「移動販売」に取り組み、北広島市の買い物格差縮小と地域活性化を目指します。

約1,000品目の品揃え！

大型冷蔵車を備えた2トン車の内部には、鮮魚・肉類・野菜・果物・惣菜・食品・飲料・日用品など約1,000品目の商品が揃っており、毎日を変えてお買い物ができます。

毎週決まった曜日に同じコースを同じ時間で伺います！

次の地域内で次の所まで移動します。準常駐車に到着後、営業を閉じてお知らせします。

営業所	時間	水	木	土	日	営業所	時間
緑陽町2丁目	11:00	山手町3丁目	11:30	高台町1丁目	11:30	緑陽町2丁目	11:00
高台町4丁目	12:30	山手町6丁目	13:30	高台町3丁目	13:00	山手町7丁目	14:00
山手町7丁目	14:30	山手町8丁目	15:30	高台町6丁目	14:30	山手町8丁目	15:30
山手町8丁目	15:30	高台町4丁目	16:00	高台町6丁目	15:00	山手町8丁目	15:30
山手町17丁目	16:00					山手町17丁目	16:00

● 雨天や道路状況により予定時刻が前後する場合があります
● 都合によりコープさっぽろは営業する場合があります

お問い合わせ：移動販売の詳しい案内はこちら。コープさっぽろの店舗本部 担当：工藤 011-671-5710
買い物不便者支援モデル事業に関すること。北広島市経済産業局 担当：代田 011-372-3311

➡跡施設の利活用は、人口減少や少子高齢化、学校統廃合など多くの課題を抱える自治体に新たな地域活性化の展開を生むきっかけにもなる。

29

学校跡施設利活用計画 (H24.3)

＜跡施設利活用の基本的な考え方＞

①複合的に活用②地域コミュニティの場として活用③民間活力を活かして活用④既存の校舎等を活用

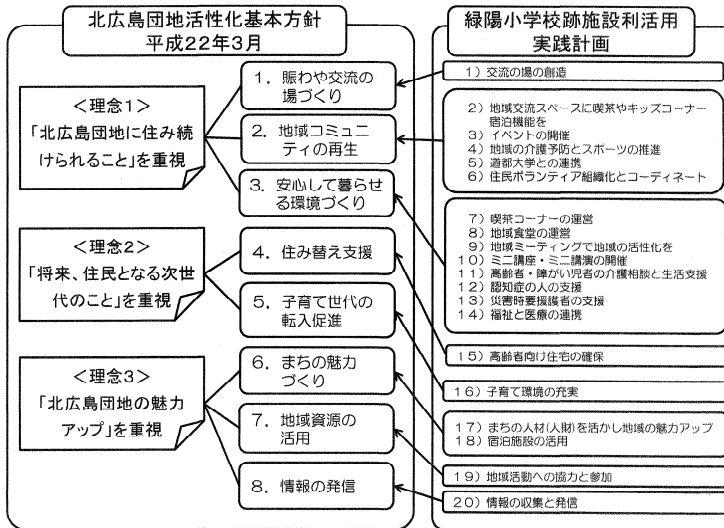
＜広葉小学校＞

複合施設(子育て支援、文化振興、地域交流、学習研修・スポーツ機能、地域防災拠点)として活用を図る。市の直営で管理。(平成30年度より指定管理導入)

＜緑陽小学校＞

地域のまちづくりへの貢献を条件に民間事業所による活用を図る。
地域交流拠点、地域防災拠点の整備を必須要件とする。

敷地・建物の無償貸与
社会福祉法人北海長正会



市民スタッフミーティング

ともに市民スタッフの会を中心に地域のつながりをつく



喫茶コーナー

ともに市民スタッフの会が運営。収益を会の各種事業に



ともに市民スタッフの会地域の運動会!

ともに市民スタッフの会が企画。地域との交流やつながり。



地域・事業者・市との継続的地域協議。

おわりに

- 北広島市では、北広島団地地区の高齢化と人口減少が顕著になっている。この人口減少を他の4地区で支えている。
- 現在、元気のある地区も将来的には、地区の高齢化や人口減少が想定される。今、北広島団地地区を再生しなければならない。
- 世代バランスの取れた地区に、また、生活を支えるバス路線の維持、そのためには地区を限定した施策も市民理解を得ながら進める必要がある。
- 地域が主体となった取組も重要。学校跡施設利活用では、法人と地域が連携したモデルとなり得る取組が進んでいる。

- 戸建て住宅の多い北広島団地地区においては、住宅の集約・再編は難しく、既存の形を踏まえた活性化策、安心して住み続けられる住みよさが求められる。
- 現在、北広島団地地区の入り口となるJR北広島駅前の土地利用について検討に着手。駅周辺のまちづくり、そこと結ぶ公共交通の充実など利便性と魅力が高まる取組を一体的に推進する。
- 住み替え支援など官民連携の取組、地域における住民と事業所の連携した取組など、様々な主体と思いや方向性を共有しながら、引き続き、団地の活性化に向けた取り組みを進めていく。



The Ambitious City



ご清聴ありがとうございました

北海道北広島市

